

金山町立金山中学校 第14号

学校だより

令和6年3月22日発行
発行責任者:金山中学校長

令和5年度 第15回卒業証書授与式が挙行されました

3月13日(水)、押部町長をはじめとするご来賓の皆様、保護者の皆様のご臨席を賜り、厳粛な雰囲気の中、令和5年度 第15回卒業証書授与式が挙行されました。卒業生の4名は凛とした表情で卒業証書を受け取り、学び舎を去る寂しさとともに、新たな環境への旅立ちに決意を新たにしていました。本校を支え、発展させてくれた4名に心から敬意を表します。卒業おめでとう。



各種検定合格者 ～金中生の軌跡～

本校では金山町から検定料の補助を受け、日本漢字能力検定、実用数学技能検定、実用英語技能検定の受検を推奨しています。外部機関の検定を通して学習の定着度合いを客観的に確認するために、生徒は検定に対して主体的かつ計画的に取り組んでいます。検定合格を一つの自信として、また新たな分野へ積極的にチャレンジすることを期待しています。

日本漢字能力検定 (2回実施)

3級 須佐桂伍 さん 藤井脩生 さん 小林大翔 さん 須佐なつ さん
4級 滝沢太晟 さん 五十嵐玲奈 さん

実用数学技能検定 (1回実施)

3級 須佐桂伍 さん 藤井脩生 さん
4級 大面彩可 さん 小林大翔 さん 馬場健人 さん
5級 五十嵐玲奈 さん 大面梓未 さん

実用英語技能検定 (3回実施)

準2級 佐藤紗季 さん
3級 伊藤 燦 さん 小林大翔 さん 馬場健人 さん 五十嵐玲奈 さん
4級 伊藤 燦 さん 須佐なつ さん 高橋遼太郎 さん 滝沢太晟 さん
五十嵐玲奈 さん 諏江 楓 さん
5級 五十嵐玲奈 さん 大面梓未 さん 諏江 楓 さん

苦勞や困難な環境こそ子どもたちの真の成長を促す

多くの芽吹きをもたらす春を迎える度に、「植物は、蓄積温度が満ちて発芽する」という言葉が浮かびます。この時期の気候は、三寒四温を繰り返して、植物にも動物にも春をもたらします。自然界の生き物たちは、揺れ動く気温の変化にその都度反応するのではなく、個体の持つ「発育限界温度」を越す温度を「有効温度」として積算すると言われます。そして、発育限界温度が生き物によって違うため、春の感じ方や成長の速度が異なるのです。

一方、鳥のように昼の長さで季節を知る生き物は、地球の動きによって自らの行動を決めると言われます。いずれにしても、自然界の多くの生き物は自分を取り巻く環境から自らの育ちの時を知り、状況に合わせた生き方や育ち方を心得ています。それに対し、私たち人間は、母親の胎内で見守られる間、比較されることは、さほど多くありません。しかし、生まれた途端に成長の「速さ」が周りと比較されがちです。成長の速さが学童期においても重視され、その後の成長に伴い、その視点が、「質」へと移っていきます。

そこにあって、人間としての成長は、いかに人や社会のために役立つ力を獲得し、生かすことができるかが大切です。人間の成長にかかわる環境は、他の生き物の気温や時間の変化に代わる存在として見逃すことができません。

卒業・修了を迎え、環境を私たち人間の意欲や経験、能力と関係づけてみるのが大切です。そこで自分を取り巻く様々な環境を自らの学びによって実生活に生かすことが必要です。苦勞や問題などの刺激が少ない環境は、蓄積温度に寄与しない存在です。それに対し成長を促す有効温度となる環境は、様々な課題解決に関わり多くの悩みや不安を抱えつつ、成長や発達のよい刺激になると言えます。その意味で、これまでの体験とともに、これから出会う苦勞や困難という環境こそ、子どもたちの真の成長を促すと信じます。